

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 50文化振興費

◎文化振興の経費

文化行政推進事業

文化推進課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

文化:文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため。

効果 市民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る。

【事業の内容】

(1) 文化行政推進事業

- ・ 市民文化祭の展示部門として、美術・写真・書道の公募展と鎌倉彫・華道・バラ・盆栽・菊花の団体展を行った。また、舞台行事として、市民団体による音楽・演劇等を行った。  
市民文化祭参加者数 延 49,707人(展示・舞台)
- ・ 寄付を受けた高田博厚氏の作品等の適切な管理を行った。
- ・ 様々な分野で活躍して高い評価を受けている鎌倉ゆかりの方の業績や生き方を記録し、市民に紹介するとともに記録として保存する文化人ビデオを制作した。
- ・ 「能・狂言の普及」に取り組む(財)鎌倉能舞台の「能楽堂」が老朽化したため、市民の文化活動育成の観点からその改修工事を支援した。
- ・ 鎌倉や鎌倉の近隣で活動するアマチュアのジャズグループが一つのステージに会し、生のジャズの楽しさを多くの人たちと共有することを目的としたJazz in鎌倉を開催した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,160	21,160	18,217		2,943

主な支出内訳

・ 文化行政推進事業

事務補助嘱託員報酬 2人	1,995
臨時的任用職員賃金	49
事務補助嘱託員費用弁償	98
高田博厚作品等保管業務委託料	2,079
文化人ビデオ制作業務委託料	3,281
芸術館使用料 (市民文化祭・Jazz in 鎌倉)	5,986
鎌倉市民文化祭負担金	1,984
鎌倉市文化協会補助金	650
実朝忌俳句大会補助金	65
文化施設改修補助金(能楽堂)	2,000

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生推-01 文化行政推進事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	463 文化政策推進事業					
主管課 分野名	文化推進課	関連課	鎌倉芸術館担当				
目標 (目標値)	歴史を継承し、文化を創造するまち 市民の文化活動を支援育成し、新たな文化を創造・発信します						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	参加者数	51,777人	32,501人	35,546人			
	決算値	18,217千円	14,681千円	16,376千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	18,217千円	14,681千円	16,376千円			
	人員配置数	1.5人	1.5人	2.3人			
	人 件 費	14,438千円	14,164千円	21,802千円			
協働の パートナー	市民文化祭企画運営委員 会・Jazz鎌倉実行委員会	市民文化祭企画運営委員 会・Jazz鎌倉実行委員会	市民文化祭企画運営委員 会・Jazz鎌倉実行委員会				
事務事業 運営経費	総事業費	32,655千円	28,845千円	38,178千円			
	市民1人当 りの経費	185円	164円	218円			
	対象者1人 当りの経費	631円	888円	1,074円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
参加者数	◎	目標値	29,500人	29,500人	29,500人	29,500人	29,500人
		実績値	32,501人	51,777人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
市の負担金等	◎	目標値	11,635千円	11,635千円	11,635千円	11,635千円	11635千円
		実績値	9087千円	7,970千円			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
事務処理改善への取組 み	◎	目標値	2件	2件	2件	2件	2件
		実績値	2件	2件			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
職場内調整の実施件数	◎	目標値	15回	15回	15回	15回	15回
		実績値	15回	15回			
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・事務事業の見直しとして、文化事業については、芸術文化活動を促進することを目的とした組織へ移管するため関係団体と協議してきたが、受入れ体制の整備や事業実施の方法等の課題の整理に留まり、具体化することができなかった。 ・また、文化活動への参加者が高齢化している傾向にあり、新たな文化の創造・発信に向けて若い世代の参加を求めると事業展開の創意工夫が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・開催にあたり、実行委員会等との協働により、効率的な事業運営の実践に努め事業経費を抑制した。また、文化事業の一環として開催している市民文化祭の実施方法等について、実行委員会等で検討した。 市民文化祭は市の主催事業として50年を超える実績があり、引き続き行政が主体となり、市民と協働しての実施を望んでいることが確認された。 ・平成20年度のJazz祭は、若い世代の団体が参加することで、一部若い世代の参加が図れた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・鎌倉市民文化祭では、新たな文化の創造・発信に向け、若い世代の参加を求める事業について、実行委員会で検討したが、実施することができなかった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・若い世代の参加を目的とした事業の必要性については認識しているため、実施に向けた具体的な企画立案に努める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	鎌倉市民文化祭、Jazz in 鎌倉については、鎌倉の文化の質的向上や文化活動の活性化を図るために必要な事業であり、引き続き、市民との協働で実施して行く。今後も事業内容の充実や効率的な事業運営など必要に応じて見直しを行う。		
担当課長氏名:	宮崎 淳		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	鎌倉市民文化祭、Jazz in 鎌倉については、鎌倉の文化の質的向上や文化活動の活性化を図るために必要な事業であり、引き続き、市民との協働で実施して行く。これらの事業は、参加と鑑賞の機会を提供する役割として一定の効果が得られるが、一方では新たな文化の創造・発信に向けて創意工夫が必要である。今後も事業内容の充実や効率的な事業運営に留意し取り組んで行く。		
担当部名	生涯学習推進担当	部長名	金川剛文